

子どもの育ちと学びをつなぐ

～安心して、自分を発揮できる小学校生活を目指して～

【仏向地区】幼保小連携推進地区事業1年目

向原幼稚園

仏向小学校

テーマ設定の理由

「子どもは有能な学び手であり、1年生は0からのスタートではない」という前提を教職員で理解し、入学した子どもたちが、小学校は安心して自分を発揮できる場所であると感じるために、幼稚園・保育園での経験や育ちを知り、小学校への学びへと繋げていくことを目指している。

推進内容

- ・効果的な保育、教育活動を具体的に探り、実践や交流活動を通して検証する。
- ・生活科や行事などの交流を通して、幼児期の学びとの連携を意識した子どもの主体的な活動を進めていく。
- ・小学校と園の職員同士で話す機会を設け、コロナ禍で希薄化してしまった幼保小の繋がりを綿密にする必要があるという認識を広める。

今年度力を入れたこと

①子どもに問う「どうしたらいいと思う？」

②子どもの思いをもとにした交流活動

③職員同士での関わり

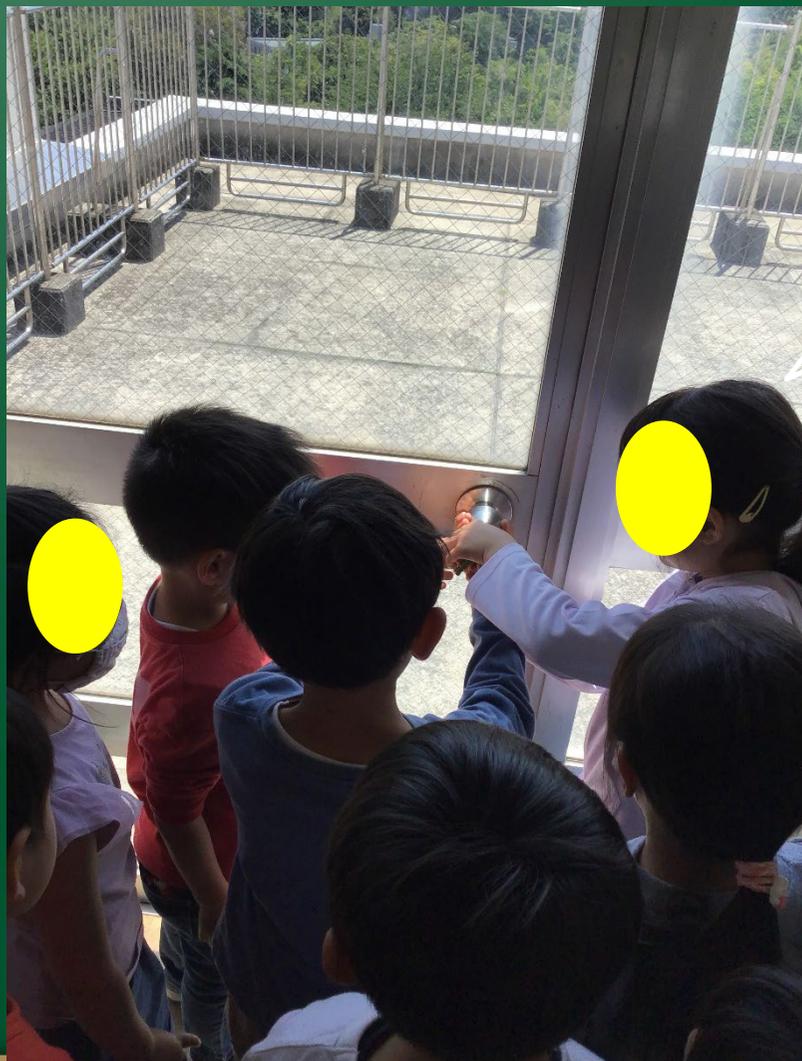
①子どもに問う「どうしたらいいと思う？」

鍵のかかった部屋
に入りたいよ。

校長先生にお願い
しよう!



①子どもに問う「どうしたらいいと思う？」



やった！
屋上も行ける！

主体的な学校探検

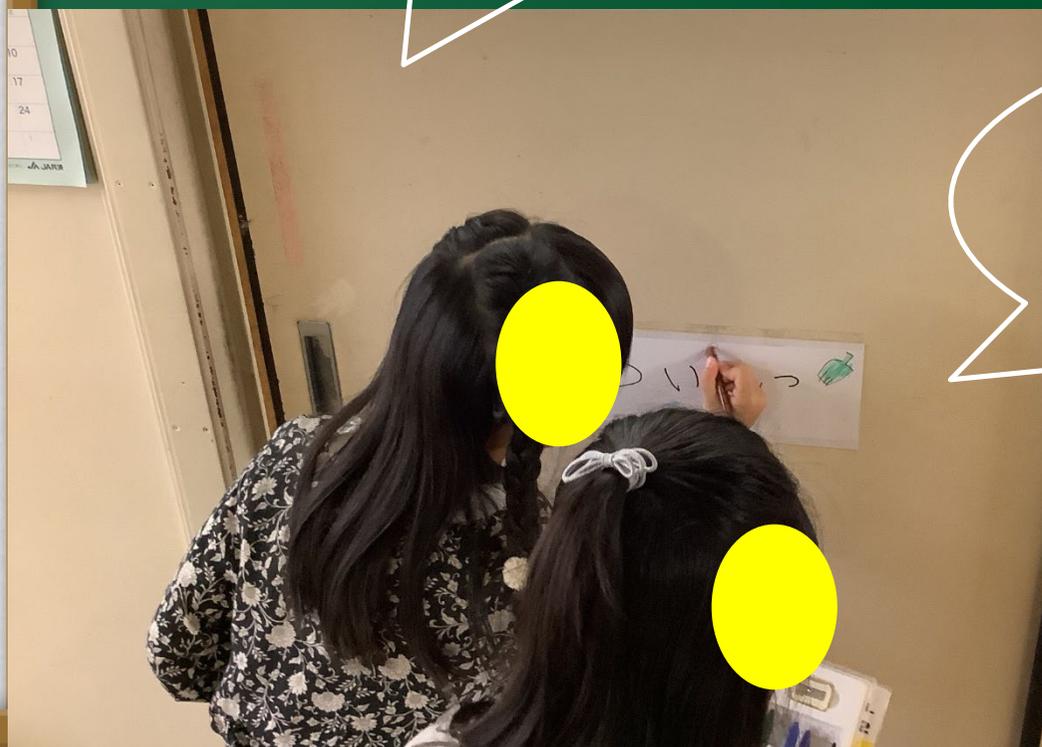


学校との距離感が
近くなる。

①子どもに問う「どうしたらいいと思う？」

教室の看板が読めないから
ひらがなの看板を作りたい!

他の1年生も、来年の
1年生も読めて嬉しい
ね。



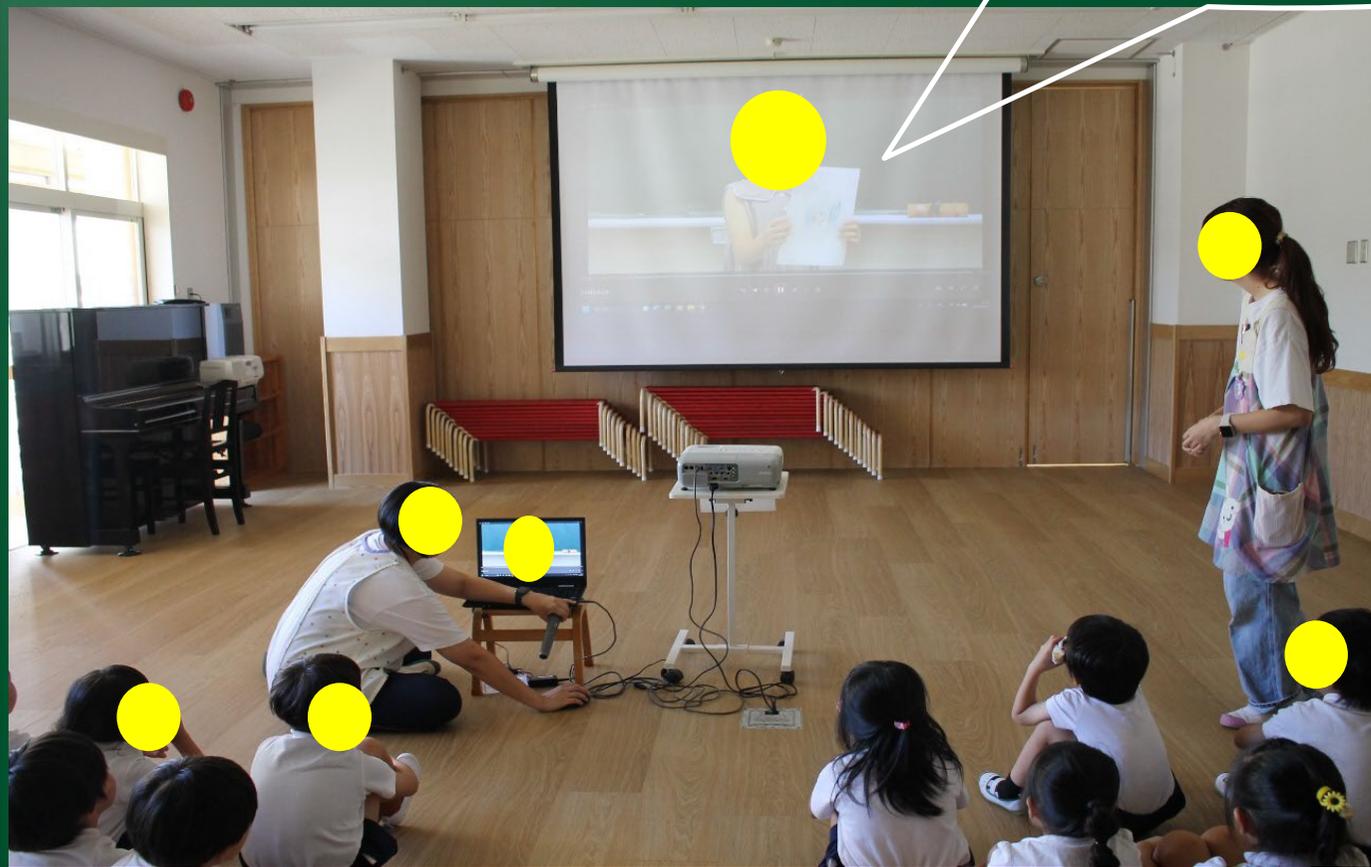
②子どもの思いをもとにした交流活動

向原幼稚園には、
どんなお花があるかな？



②子どもの思いをもとにした交流活動

くちばしクイズを幼稚園の
みんなに出したい!



②子どもの思いをもとにした交流活動

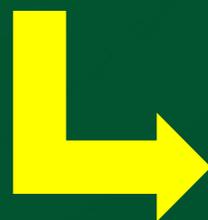
練習の応援行きたい!



②子どもの思いをもとにした交流活動



2月19日に
小学校に遊びに
来てください!



実行委員の立ち上げ



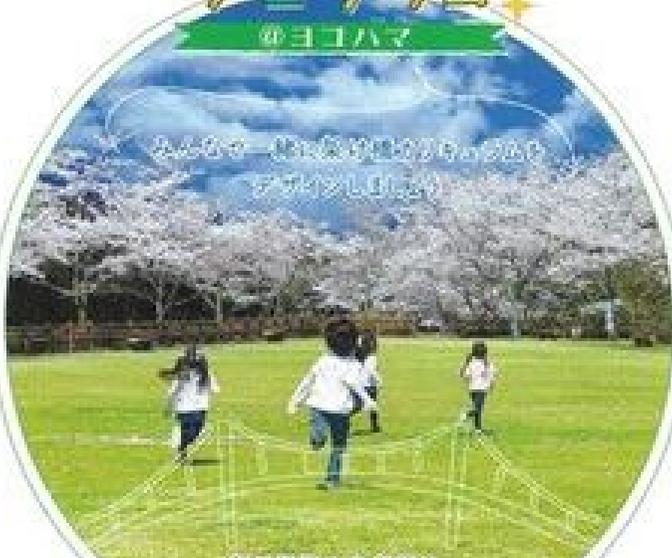
③職員同士での関わり

3月28日:幼保小連携研修会・引継ぎ

Let's talk about our

架け橋プログラム

＠ヨコハマ



みんなが「ひとこと」から広がるエピソードをお互いに話したり聞いたりしましょう。

架け橋期の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期です。本来に向かって子ども一人ひとりが生き生きと生活し学びたいことができるよう、この時期の子どもの育ちや学びについてみんなで一緒に考えていきませんか？

話題「夢中」

問1 最近見た子どもの姿から、「何かに夢中になっているな」と思った場面はありますか？

問2 そのような子どもの姿は、どのような環境や援助によって見られたのだと思いますか？

問3 夢中になれる姿がより多く見られるようにするために、次にどんなことをしたらよいでしょうか？

子どもの夢中になっている姿を話しましょう!

②付箋をワークシートに貼りながら、「ひとこと」から広がるエピソードをお互いに話したり聞いたりしましょう。メモを書き込んでもいいですね。

③それぞれのエピソードについて、共通点を見付けたり内容を深めたりするために、【問2】について考え、付箋やメモを書き足したりつなげたりしてみましょう。

④さらに、【問3】について話し合い、共有したことをキーワードにまとめてみましょう。これで、参加者みなさんのアイデアで作ったわたしたちの「架け橋カリキュラム」が一つできました。

具体的な架け橋カリキュラムの作成を目指す

成果と課題

【成果】

- ・1年生は0からのスタートではないことの実感
- ・小学校（施設・先生）への安心感
- ・子ども主体での学習活動が生まれる
- ・生き生きとした姿 ・相手意識の芽生え

【課題】

- ・スタートカリキュラムも含めたカリキュラムマネジメント
- ・交流の少なさ

↳ 年間計画の見直し・交流する園の拡大